

オプトアウト（HP 情報公開）

令和 1 (2019) 年 9 月 4 日

呉竹学園では、昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座と共同で診療録を用いて「鍼灸の安全性に関する多施設共同調査－施術者毎の有害事象発生率および臨床年数と施術評価の関連－」に関する研究を実施しております。

上記の研究は、学校法人呉竹学園研究倫理委員会および昭和大学医学研究科倫理委員会の審査による承認を得たうえで行っており、その内容については「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定によって情報公開することが必要とされております。

研究科題名	「鍼灸の安全性に関する多施設共同調査 －施術者毎の有害事象発生率および臨床年数と施術評価の関連－」
研究機関名	呉竹学園 東洋医学臨床研究所 昭和大学 医学部衛生学公衆衛生学講座
研究責任者	呉竹学園 東洋医学臨床研究所 上原明仁
研究代表者	同上
研究者	昭和大学 医学部衛生学公衆衛生学講座 小風 暁 呉竹学園 東洋医学臨床研究所 金子泰久
研究目的	研究責任者が以前行った「鍼灸の安全性に関する多施設共同前向き調査」では、得られた試料から有害事象の種類、発生数、発生率が明らかとなりました。この研究によって臨床経験年数と有害事象の発生数に関連があることが示唆されましたが、施術者間の差や臨床経験年数と施術評価の関連は不明のままです。 今回の研究では、前回のデータおよび各施術所の診療録から各施術者の有害事象発生率と施術前後の評価を抽出し、関連を調査します。 得られた結果は適当と思われる学会又は学術誌において発表すると共に、鍼灸臨床教育の安全性向上のための資料として使用します。
研究期間	研究倫理委員会承認日～令和 5(2021)年 8 月 31 日
対象者	平成 26(2014)年 10 月 1 日～平成 28(2016)年 11 月 30 日の間に呉竹学園(東京医療専門学校・呉竹鍼灸柔整専門学校・呉竹医療専門学校・東洋医学臨床研究所)の各付属施術所で鍼灸施術を受療された方。
使用情報	診療録のデータを取得します。

研究成果は学術集会や学術雑誌に発表されますが、受療者を特定できる情報は秘匿されており、研究成果発表に際しても利用されません。

この研究について、ご不明の点やご了解いただけない点がある場合には下記にご連絡ください。上記研究中であれば、いつでも対象者となることを拒否されることが可能です。

お問い合わせ先：学校法人呉竹学園 東洋医学臨床研究所
担当者：上原明仁（電話 03-3341-4921）